

# 地域とともに歩む学校づくり

浦安市では、地域とともに子どもを育む学校づくりを推進しており、地域資源を活用した教育活動を積極的に展開しています。今回は、その取組の一部をご紹介します。

## キャンパスツアー [明海大学・SBC東京医療大学・順天堂大学] (入船中学校)

市内には、明海大学、SBC東京医療大学・順天堂大学の3つの大学があります。しかし、大学の近くをよく通るけど、中までは知らないという人は多いのではないのでしょうか。今回その3大学にご協力いただき、入船中学校の2年生がグループに分かれて各大学を訪問しました。「大学」と言われて、なんとなくのイメージはあるけれど、具体的にはどのようなことをするのかまで知っている生徒は多くありません。そこで大学の職員の方より、大学ではどのようなことを学ぶのか、学び・研究を活かし卒業後にどう繋げていくのかといったお話をさせていただきました。その後、大学内の施設を見学し、中学校より大きい教室や、専門的な機器が置かれている教室などを見ると、生徒たちはとても興味津々に見入っていました。入船中学校は1年生で職場体験、2年生ではこのキャンパスツアーを実施し、進路選択へ繋げています。今回のキャンパスツアーが、3年生になった時の進路選択、またその先へと活かされることでしょう。



口腔保健学科の教室見学の様子  
▼ 専門機器に興味津々でした



## 明海大学ハニープロジェクト (明海南小学校)



生態クイズに挑戦



はちみつの味見

まち探検活動の一環として、明海南小学校の2年生が明海大学を訪問しました。明海大学に着くと、大学生の皆さんがお出迎えをしてくださり、大学で取り組んでいる「うらやすハニープロジェクト」にちなんで「生態クイズ」、蜜のもととなる花を探す「蜜源探し」、実際にミツバチがいる「巣箱見学」や、蜜を瓶に詰める体験を行いました。瓶に詰めた蜜は児童たちが持ち帰ることができ、とても嬉しそうにしていました。

このプロジェクトは、浦安市の第一次産業を活性化させるために、ホスピタリティ・ツーリズム学科の方々が様々なアイデアを出し合って始まりました。

この活動を通して、児童たちが市内の産業に興味を持ち、地域への親しみや愛着を深められればと願っています。

## 浦安 D-Rocks 出前授業 (富岡中学校)

ホストタウンを浦安にしているラグビーチーム「浦安D-Rocks」より、安田選手、本郷選手、小西選手、平瀬さんの4名が、富岡中学校の3年生を対象に出前授業を行いました。授業は、ラグビーを2クラスごとに行い、パス回しや1対1のミニゲームを行い、その後一緒に給食を食べるなどをして交流を行いました。



浦安D-Rocksから来られた4名の方々



1対1のタグラグビー

チームでのパス練習

Q.一緒にラグビーをして、富岡中学校の生徒たちにどんな印象を持ちましたか。  
とにかくすごく元気でした！今までで一番って言うくらいすごかったですし、男女ともに積極的に参加してくれたのもうれしかったですね。「スクラム組みたい！」って言うてくれた生徒の子もいたし、最後ミニゲームをやりましたけど、一緒に円陣をした学校は初めてでした。こちらもすごく楽しませてもらいましたし、パワーをもらいました！

Q.この取組を通して、どんなことを伝えたいですか。  
一番はラグビー、浦安D-Rocksというチームを知ってもらいたいです。そしてラグビーはチームスポーツなので、誰かがミスしてもカバーする助け合いの心を持って欲しいです。

Q.生徒たちへメッセージをお願いします！  
とてもパワフルな生徒ばかりで、パワーをいただくことができました！ぜひ浦安D-Rocksの試合にも足を運んでみてください！



## 特別支援教育 ～交流スポーツ大会&はっぴい発表会～

浦安市特別支援教育研究連盟が中心となり、10月には「中学校特別支援学級交流スポーツ大会」、11月には「はっぴい発表会」が開催されました。交流スポーツ大会では、市内特別支援学級の生徒が集まり、楽しく体を動かしながら他校の生徒と協力して、ポッチャやソーラン節などを行いました。

はっぴい発表会では、市内小・中学校特別支援学級の児童生徒が午前の部・午後の部に分かれて集まり、日頃の学習の成果を発表・鑑賞しました。子どもたちは、ダンス、歌などこれまで学習してきたことを、多くのお客さんの前で堂々と発表することができました。



劇ソーラン節の発表



チーム対抗ポッチャ



劇の発表

浦安市特別支援教育研究連盟は、特別支援学級担任や通級指導教室担当及び特別支援教育に携わる教職員で組織され、本市の特別支援教育の充実を目的に平成27年度に県の特別支援教育研究連盟に加盟し、発足しました。

「はっぴい発表会」や「交流スポーツ大会」は子どもたちの日々の学習の発表や交流の場としてだけではなく、多様な子どもたちの学びを支えるための、教職員の専門性を深め、資質向上を図る機会ともなっています。

浦安市特別支援教育連盟 理事長  
日の出中学校長 山本 典子

## 姉妹都市オーランド市との交流

アメリカフロリダ州のオーランド市より、Dr. Phillips 高校の生徒が南小学校を訪れました。浦安市とオーランド市は、姉妹都市協定を結んでおり、今年で35周年の節目の年となります。

6年生の各クラスに高校生が加わり、書写、折り紙、けん玉などで交流を行い、どのクラスの児童も積極的にコミュニケーションを取っていました。言語が違う中でも、外国語の授業で学んだことを生かして、身振り手振りを交えて上手に教えており、学習の成果が存分に発揮されていました。

その後は給食、昼休みまで一緒に過ごしました。短い時間でしたが児童たちにとっては貴重な国際交流の機会となり、とても充実した時間を過ごすことができました。



### ～浦安市の英語教育について紹介します～

本市では文部科学省から教育課程特例の指定を受け、1.2年生のうちから外国語活動を実施する特別な教育課程を編成し、3年生からの外国語活動への滑らかな接続を行っています。

#### 1・2年生 年間14時間

あいさつや身の回りの物の名前について、担任の先生やALT、友達とのコミュニケーションを通して、楽しみながら学習を進めます。

#### 3・4年生 年間35時間(週1時間分)

身近なできごとや身の回りの物について、質問したり答えたりして進んで伝え合う学習をします。

#### 5・6年生 年間70時間(週2時間分)

自分の考えや気持ちを伝え合う学習をします。また、英語を書く学習も行います。